

申告書等の記入例 《申告書》

◎申告していただいた書類は、そのまま電算入力しますので、記入漏れのないようにお願いします。

申告年月日を記入してください。

1 変更がある場合は、**朱書き**で訂正してください。
電話番号を記入してください。

2 変更がある場合は、**朱書き**で訂正してください。
法人については、代表者名を記入してください。
屋号があれば記入してください。

(イ) 前年度申告書の(二)欄の価額が打ち出されています。※

(ロ) 前年中に除却した資産の取得価額の合計額を種類別に記入します。
初めて申告される方は、記入する必要はありません。※

(ハ) 前年中に取得した資産の取得価額の合計額を種類別に記入します。資産名・取得年月・耐用年数を変更した資産は含みません。※

(二) (イ)欄－(ロ)欄＋(ハ)欄を記入します。
資産の異動がない方は、(イ)欄と同額を記入します。※

18 添付書類の名称・特例を適用する資産の名称、その他変更する事項を記入してください。
資産の増減がない場合は“**増減なし**”資産そのものがない場合は“**該当資産なし**”と記入してください。

3 所有者の個人番号又は法人番号を記載してください。なお、個人番号を記載する場合には、左側1文字空けて記載してください。

4 事業種目を具体的に記入してください。法人にあっては、資本金又は出資金等の金額も記入してください。

5 事業を開始（法人設立）した年月を記入してください。

6 この申告について直接応答される方の部署名、氏名及び電話番号を記入してください。連絡する必要がある場合に必要ですので必ず記入してください。

7 税理士等がこの申告の作成を委託している方は、その氏名及び電話番号を記入してください。

8～14 該当する方に○をつけてください。

15 笠間市内の事業所等資産所在地を記入してください。
2つ以上の資産所在地がある場合は、それぞれの所在地を記入し、その主たる所在地の番号に○をつけてください。所在地は、正確に記入してください。

16 借用資産の有無について該当する方に○をつけてください。
借用資産がある場合は、貸主の住所及び名称を記入してください。

第二十六号様式（提出用）

令和7年度 償却資産申告書の記入例

令和7年度 償却資産申告書（償却資産課税台帳）

※所有者コード

1.住所	かさましちゅうおう 笠間市中央三丁目2番1号	3.個人番号又は法人番号	1123456789012	8.短縮耐用年数の承認	有・ ☒
2.氏名	株式会社 笠間食品 代表取締役 笠間 太郎 (屋号)	4.事業種目 (資本金等の額)	食品製造業 10百万円	9.増加償却の届出	有・ ☒
5.事業開始年	昭和50年5月	6.この申告に応答する者の係及び氏名	庶務課 笠間花子 (電話 77-1101)	10.非課税資産の特例	有・ ☒
7.税理士等の氏名	甲乙太郎 (電話 77-0000)	11.課税標準の特例		12.特別償却又は圧縮記録	有・ ☒
		13.税務会計上の償却方法		14.青色申告	④・無

資産の種類	前年前に取得したもの ①	前年中に減少したもの ②	前年中に取得したもの ③	計 ④＝①＋③
1 構築物	651,000			651,000
2 機械及び装置	6,845,000	1,000,000	495,000	10,795,000
3 船舶				
4 航空機				
5 車両及び運搬具				
6 工具・器具及び備品	1,210,000	210,000		1,000,000
7 合計	8,706,000	1,210,000	495,000	12,446,000

15. 市(区)町村内に おける事業所等 資産の所在地

① 笠間市笠間1035-1

②

③

16. 借用資産 (有・無) 貸主の名称等

笠間市笠間1-5-5 茨城リース(株)

17. 事業所用家屋の所有区分 (自己所有・借家)

自己所有

18.備考(添付書類等)

記入する必要はありません。
(ただし電算処理により全資産申告される方は(ホ)～(ト)を記入してください。)

資産の種類	評価額 ⑤	※決定格 ⑥	※課税標準額 ⑦
1 構築物			
2 機械及び装置			
3 船舶			
4 航空機			
5 車両及び運搬具			
6 工具・器具及び備品			
7 合計			

※初めて申告される方は、(イ)、(ロ)、(ハ)、(二)の欄には打ち出されないの、該当がある場合は、ご記入ください。

《種類別明細書（増加資産・全資産用）》

◎令和6年1月1日現在の資産所有状況が打ち出されています。
令和6年1月2日から令和7年1月1日までに取得した資産、企業内移動資産等の増加した資産がある場合は、**朱書き**で空欄の行に記入してください。
また、減少した資産がある場合は、**赤線**を引いてください。

◎初めて申告される方は
令和7年1月1日現在所有している全資産を記入してください。

取得価額
資産を取得するために要した費用（引取運賃、保険料、手数料、据付費等の付帯費を含む）を記入してください。

耐用年数
「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」に掲げる耐用年数を記入してください。
また、短縮耐用年数を適用している場合は、必ず「耐用年数の短縮承認通知書」の写しを添付してください。
中古資産については、見積耐用年数を適用している場合は、その耐用年数を記入してください。

種類別明細書（増加資産・全資産用）

※どちらかに○をしてください。

減少した資産は
赤線を引いてください。

資産の種類
構築物……………1
機械及び装置……………2
船舶……………3
航空機……………4
車両及び運搬具……………5
工具、器具及び備品……………6
資産の種類に対応する1～6までの数字を記入してください。

増加事由
1…新品取得
2…中古取得
3…移動による受入
4…その他
該当する増加事由の番号に○をつけてください。

移動・申告漏れ等の理由により、取得年月が平成20年12月以前で、かつ、省令改正により、耐用年数が変更された資産がある場合は、※印を記入してください。

令和6年1月1日以前に取得した申告漏れ資産を申告した場合には、過年度分においても修正申告が必要となります。

令和 7 年度				所 有 者 コー ド		所 有 者 名		1 枚のうち								
						株式会社 笠間食品		1 枚 目								
行 番 号	資 産 の 種 別	資 産 コー ド	資 産 の 名 称 等	数 量	取得年月		取得 価 額 (イ)	耐用 年 数 (ロ)	減 価 残 存 率 (ハ)	価 額 (ニ)	課税標準の特例 率 コード		課 税 標 準 額	増 加 事 由	摘 要	
					年 号	年 月					十 億	百 万				千
01	2		洗浄機	1	H	6 5	200000	10							1-2	
02	2		製麺機	1	H	5 8	1000000	10							3-4	
03	2		包装機	1	H	11 1	238000	10							3-4	
04	2		金属検出機	1	H	12 2	735000	10							3-4	
05	2		冷却ユニット	1	H	14 6	400000	10							3-4	
06	2	記入 する必要 はあり ません。	シール機	1	H	15 8	300000	10							3-4	
07	2		印字装置	1	H	15 8	1000000	10							3-4	
08	2		こね機	1	H	18 1	830000	10							3-4	
09															1-2	
10	2		製麺機	1	R	6 9	1565000	10							3-4	
11	2		油水分離装置	1	R	6 10	2085000	5							3-4	
12	2		小麦粉製造装置	1	R	5 5	1300000	10							3-4	
13	2		小麦粉製造装置	1	H	19 5	1300000	10							3-4	
14															1-2	
15															3-4	
16															1-2	
17															3-4	
18															1-2	
19															3-4	
20															1-2	
小 計				8			6845000									
				11			12095000									

増加した資産は**朱書き**で記入してください。

取得年月
資産を実際に取得した**年月**を記入してください。

記入する必要はありません。
ただし、電算処理により全資産申告される方は記入してください。